

2025年度 株式会社ジェイコム九州北九州局 放送番組審議会 議事録

【開催日時】 2026年3月13日（金） 11時00分～12時30分

【場 所】 株式会社ジェイコム九州北九州局 大会議室

【出席者】

放送番組審議会委員：6名中5名出席 ※敬称略・順不同

《会長》

曾山 茂志（株式会社西日本新聞社 執行役員 北九州本社代表）

《委員》

仲道 辰郎（株式会社ゼンリンウェルサポート 代表取締役社長）

久保山 雅彦（公益財団法人北九州市芸術文化振興財団 理事長）

中尾 基（国立大学法人九州工業大学 教授）

福岡 佐知子（株式会社三角形 代表取締役）

放送番組審議会事務局：7名出席

上村 忠（株式会社ジェイコム九州 代表取締役社長）

阿部 太（株式会社ジェイコム九州 北九州局長）

松藤 浩之（株式会社ジェイコム九州 北九州局管理部長）

出貝 仁洋（JCOM株式会社 J:COMプロダクション本部 九州制作グループ リージョナルマネージャー）

加藤 誠（JCOM株式会社 J:COMプロダクション本部 九州制作グループ 北九州・下関拠点長）

今石 珠貴（JCOM株式会社 J:COMプロダクション本部 九州制作グループ 北九州・下関チーム）

大津 善彦（JCOM株式会社 J:COMプロダクション本部 九州制作グループ 北九州・下関チーム）

【開 会】

■開会挨拶

株式会社ジェイコム九州 代表取締役社長 上村

■事務局より

委員6名のうち5名出席につき、放送番組審議会規程第3条及び第4条に基づき当会は成立

■会長挨拶

曾山 茂志 様

■議事進行（曾山会長）

各委員の任期は、2025年4月1日から2026年3月31日までの1年間

今回の審議会では、同期間の放送番組を審議する

■委員挨拶

仲道 辰郎 様、久保山 雅彦 様、中尾 基 様、福岡 佐知子 様

## ■自主制作番組制作方針説明（事務局）

2025年度の方針説明を実施

- ① 地域戦略番組の拡大
- ② 安心安全の更なる強化
- ③ 地域取材対応強化
- ④ 地域関心度高のコンテンツ投入、手法の多様化
- ⑤ デジタル配信、SNS/Webの積極活用

## ■2025年度自主制作番組実績（事務局）

主なレギュラー番組、特別番組について説明を実施

## ■2025年度自主制作番組に対する質疑応答

委員：

特番の制作本数は例年と比べてどうだったのか教えてほしい。

事務局：

例年に比べ多いイメージ。収録番組では例年1本程度ですが今年度は2本、花火も関門花火に加え、新規でくきのうみ花火を放送することができた。

委員：

地域共創とよく言われているが「ぎQLASS」はマッチしている。スポーツ関連では地上波で放送されない試合も取り上げていて意味があると思う。花火は夏の暑い中、外出しなくても画面の前の特等席で雰囲気味わえるのはすごくエンゲージメントが上がると思う。戦争特番は北九州が実は軍都であったことを知らない世代も増えている中、非常に大事と感じた。

事務局：

「ぎQLASS」は九州・下関エリアで放送しているので、視聴者は他地域の取り組みを知る機会にもなり、行政も他地域含め施策を伝えることができる番組になっている。地域スポーツについては注目選手やチームの取り組み等も含め1試合でも多く放送にチャレンジできればと考えている。花火も本当に視聴ニーズが高いと感じているので引き続き取り組みたい。戦争特番は担当スタッフの長期間の取材からようやく実現できた。

委員：

地域情報を多く取り扱っているが、地域の人にもテレビに映るとウキウキしてうれしいと思う。情報収集は大変だと思うが、地域情報をどんどん発信してほしい。様々なネットワークからいろんな情報が集まればよいと思う。八幡大空襲は語り継ぐ方が少なくなると思うので映像に残すことは大切と思う。

事務局：

地域情報ネットワークである安心安全サポーター制度では今年度の取り組みとして対面やオンラインで

交流の機会を増やす取り組みをしている。八幡大空襲は番組化まで数年かかっており、もう今しかないという中で番組化できた。

#### ■番組審議「ジモトトピックス 福岡・北九州」

《番組視聴》ジモトトピックス 福岡・北九州

委員：

二十歳の記念式典は、メディアが派手な衣装に殺到して北九州のマイナスイメージにもつながっていると感じているが、ジモトトピックスでは普通の方も取り上げており、良かったと感じた。

委員：

二十歳の記念式典は派手なイメージが強いが、真面目に働いて衣装代を準備している方の特集や追跡もできたらよいのではと思う。野球教室の話題もあったが、若い世代にはバスケットボールやサッカーとかも人気があり、それらの大会を放送すると若い人の視聴も増えると思う。

事務局：

二十歳の記念式典は地域メディアとして派手ではない普通の部分も伝えていきたい。スポーツについては、昨年度、バレーボールVリーグ中継もチャレンジした。放送するには準備が必要なので情報収集して、チャンスがあればチャレンジしていきたい。

委員：

小さな地元のお祭りは、なり手が少なくなっているので、テレビで放送されると興味を持ってもらえると思う。全部を取材することは難しくても、自分の地域にこんなお祭りがあると気付いて頂ける機会になるので、短くてもよいので取材してほしい。

事務局：

神幸祭の取材は昨年の審議会のご意見をきっかけに、練習風景から本番までを取材した。来年度も違う地域のお祭りを取材していきたい。

委員：

イベント情報で告知していた、ひな祭りスタンプラリーは、達成された方がいて市民センターに掲示されていた。イベント後の後追い取材も面白そうだと思う。

#### ■閉会挨拶

株式会社ジェイコム九州北九州局 局長 阿部

以 上